

景観まちづくり学習助成事業実施校

学校名 横浜市立南戸塚小学校

① 学習指導案

プログラム	No.05 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全72時間)	あいさつと笑顔でつなぐ50周年 ～カルタをつくってナントツの町と仲良くなろう～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいる地域の人々や環境、歴史などに目をむけ、自分たちの地域のよさについて考え、カルタをつくる。 カルタを通して、他学年や地域の方にナントツのよさを伝える。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 南戸塚のまちの様子について調べる計画を立てる。 実際に南戸塚のまちを探検し、土地の様子や主な建物などを知る。 探検と通してもっと知りたくなった施設や歴史について調べる。 わかったことをもとに、学区の特徴をまとめる。 学習したことをもとに、カルタをつくる。 地域の方や他学年に発表する。
参考資料 準備品 実施場所等	iPad 学校まわりの地域、教室

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1.2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">南戸塚のまちは、どんなところがあるだろう。</div> <p>○自分が知っている場所やよく行く場所を話し合う。</p>	子どもの発言から出てきたことを分類し、わからないことをはっきりさせることで今後の学習への見通しと解決方法を考えられるようにする。	まちの様子について調べたいことをもとに、学習課題をつくるために考え、表現している。
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">屋上に行って、南戸塚のまちを見てみよう。</div> <p>○屋上から見える南戸塚のまちの様子を記録し、どのようなものが見えたか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西南北ごとに見えたものの確認 ・まち探検の視点の確認 	屋上から見えることやもの、見えない場所などをクラスで確認するとともに、今後のまち探検への見通しがもてるようにする。	

4 ～ 16	<p>各方面的まちの様子を調べよう。</p> <p>○東西南北各方面のまち探検に行き、まちの様子を調べる。 〈探検の視点〉 ・土地の様子 ・建物の様子 ・交通の様子</p> <p>○各方面の探検を通して気付いたこと、考えたことを交流し、まとめる。</p>	<p>見学の視点を明確にすることで、生活科とも違いをはっきりさせる。</p> <p>見学時に気になったことを写真に残しておくことで、後から振り返ができるようになる。</p>	<p>見つけたことや気が付いたことをカードやノートに記録している。</p> <p>調べて分かったことを絵や言葉で白地図にまとめている。</p>
17.18	<p>もっと調べてみたいことを話し合おう。</p> <p>○探検を通してもっと調べてみたいと思ったことを話し合う。</p> <p>もっとくわしく南戸塚のまちについて知ろう。</p> <p>○まち探検を通してもっと調べたいと思ったことをもとにグループ分けをし、調べ学習、インタビュー活動などを行う。</p> <p>○南戸塚小50周年と合わせて、学校の良さも合わせて伝えられるようにする。</p> <p>南戸塚のよさ、学校のよさをカルタで伝えよう。</p> <p>○南戸塚のまち・学校のよさをカルタ文に表す。 ・字札の文 ・絵札</p> <p>○50周年記念式典に合わせてカルタを地域の方や他学年に発表する。</p>	<p>まち探検を通してわかったことを方面別に比較しながらまとめられるようにする。</p> <p>調べる事項を細分化し、なるべく少人数で活動できるようになる。</p> <p>創立50周年に合わせて、南戸塚小学校の歴史や特徴、よさについてもまとめられるようになる。</p> <p>五七調を意識し、分かりやすい分になるように気を付けて、カルタの地の文づくりを行う。</p> <p>字札ができたら、文に合う絵札を作成する。</p>	<p>観点に基づいて観察や聞き取り調査を行ったり、地図や写真などの資料を活用したりして南戸塚の地域の様子について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>南戸塚のまちの特徴をとらえ、わかりやすい文で表している。</p>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立南戸塚小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
4	教室 屋上 [）] 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てる。 ・まちでよく行く場所やおすすめの場所を紹介し合い、気が付いたことを話し合う。 ・屋上からまちの全景を四方向別に確認する。 ・前時に話し合った場所がどこにあるのかをおまかにつかむ。 ・調べたい場所や調べたいことを話し合い、たんけんの方法を確認する。 	 	東西南北でまちの様子が違っていることに気づいていた。 屋上から確認したことによって、行ってみたい場所、調べてみたい場所が明確になった。
10	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・東西南北ごとに、まち調べに出かけ、土地の使われ方や建物の様子、交通の様子などを中心に気付いたこと、考えたことをまとめめる。 	 	東西南北それぞれで、まちの様子が違うことに気付く。
5	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・まちたんけんでわかったことをクラス全体でまとめていく。 		それぞれ様子は違うが、どの方面も坂が多いことがわかり、このまちの特徴であると考えた。
4				

	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が今年50周年を迎えることを確認し、学校の歴史について調べる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読んだことで、昔の学校について興味をもち、進んで調べていた。 ・昔は児童数が多かったことや、校舎が1つしかなかったことなど、今との違いに驚いていた。
6	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・まちたんけんや、学校の歴史を調べた活動を通して、もっと詳しく調べたいことは何かを考える。 ・グループに分かれて活動計画を立てる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 学校の歴史 ② 学校のよいところ ③ 地域の歴史 ④ 地域の人 ⑤ 公園 ⑥ お店・施設 		
20	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに、五十音ごとにかるたの読み札を作る。 		五七五の17字に表現する難しさとおもしろさを感じながら、読み札を作ることができた。
20	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・読み札に詠んだ景観を絵で表現し、絵札作りを行う。 		読み札の景観が伝わるように、場面構成を考え、丁寧に絵を仕上げることができた。

1	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・50周年式典の際、体育館に掲示し、地域の方や他学年に披露する。 		<p>完成した喜びと、地域の方に喜んでいただいたことが、子どもたちの自己肯定感を高めた。</p>
2	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・できたかるたを使って、クラスでかるた遊びを行う。 		<p>達成感を味わいながら、みんなで楽しむことができた。</p>
PTA会報誌に載せてもらいました				
				

③ 実施内容について

(1) 実施に当たり工夫した点

- 自分の興味をもった場所やお気に入りの場所を友達に伝えたいという相手意識や目的意識を単元の導入時にもつことで、その後の学習の意欲につながった。
- たんけんで調べるポイントとして、「土地の様子」「建物の様子」「交通の様子」の3つを確認することで、何のために探検するのか目的意識をもつことができるようとした。
- 学校の50周年行事に合わせてかるたを作成したことにより、地域だけでなく、学校の歴史や、学校の良さや特徴に目を向けることができ、子どもたちの意欲向上につながった。

(2) 実施にあたり苦労した点

- コロナ禍での活動となり、施設や店、地域の方へのインタビューがなかなかできず、計画通りに活動が進められなかった。

(3) 児童の反応

- 自分達が知らなかつたまちの特徴やよさを知ることができた。また、知っていた場所でも新たなるよさを発見する姿が見られた。
- 「みんなで協力してかるたを仕上げよう」という意識が高まり、クラスに一体感がうまれた。
- 取材に行けない店に、放課後や休日を使って出向き、自らインタビューをする児童がいるなど、主体的に学習することができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 南戸塚のまちを児童と共にたんけんすることを通して、担任自身もまちの特徴や魅力について知ることができた。
- 50周年に合わせて活動したことにより、学校の歴史について知ることができ勉強になった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- 今後は、商店街や地域で活躍している方など、今年度よりさらに活動範囲を広げていきたい。
- できたかるたを掲示するだけでなく、発表する場を設けたい。また、かるたを使って実際他の学年に遊んでもらう活動も取り入れたい。